

第10回 仁淀川水系流域治水協議会 議事要旨(質疑概要)

日時：令和5年3月23日(木) 14:30～16:30

場所：高知河川国道事務所 4階会議室(WEB併用)

議事1：規約の改定について

- ・特に意見無し

議事2：各機関の取り組み紹介について

<質疑概要>

●高知河川国道事務所長

- ・いの町の個別の家屋毎に浸水深を表示する取り組みは、実感が沸く良い取り組みだと思う。他の自治体でも参考にしていきたい。
- ・土佐市では、雨水貯留施設設置補助の実績は現在のところ無いとのことだが、具体的な内容を教えて欲しい。また、いの町でも同様な取り組みを実施されているが、同様に教えていただきたい。

○いの町

- ・新たに宅地開発された浸水区域内のエリアでは雨水枡を必ず設置することとしている。設置費用は1基あたり2万円まで町で補助金を出すようにしている。

○土佐市

- ・雨水タンク設置補助について、補助金の上限は1基あたり1万円である。実績が無い要因としては補助率が低いためと思われるので見直しが必要ではないかと考えている。

●高知河川国道事務所長

- ・いの町との補助額に大きな差がないことから補助額以外の要因も考えられる。周知の方法も含めて自治体間で情報共有して活用に繋がるようにして頂ければと思う。

●石川委員

- ・P10にある里山再生支援事業では竹を伐採しているようだが、除根も実施しているのか。

○いの町

- ・除根は実施していないが、竹は伐採後5年間生えなければ再度生えることはないため、5年間監視して生えてきたらまた伐採するなどアフター作業も行っている。

●石川委員

- ・P9のワンコイン浸水センサとはどのようなものか。

○いの町

- ・500円に限ったわけではないが、安価に設置できるセンサであり、多数設置することに

より各地区のどこまで浸水しているかを広く把握できる機器である。アンダーパスや住居等に設置すれば、速やかに浸水の連絡がくるようになる。現在はまだ実証実験段階にある。

●石川委員

- ・P41～42にある多段階浸水想定図・水害リスクマップは支川でも作成予定か。

○高知河川国道事務所

- ・今後、支川も作成していく予定である。

●石川委員

- ・非常に良い取り組みと思う。流域内の方々も浸水リスクなどが良く分かる資料だと思う。

議事 3：流域治水プロジェクトの変更について

<質疑概要>

- ・意見無し。

議事 4：気候変動を踏まえた流域治水プロジェクトの見直しについて

●石川委員

- ・河道掘削後に生物や川の多様性が無くなることが多々見受けられる。特に支川などはコンクリート三面張りにしてしまうことがよく見られる。グリーンインフラという考え方でいくなら、緑や環境を活用する、もう一步踏み込んで環境を戻す・創る、といったことも考えていったら良いのではないか。

○高知河川国道事務所

- ・河道を検討するにあたり、流量を流すことだけでなく、環境や維持管理の観点も踏まえて検討していきたい。

●越知町

- ・これまでの流域治水協議会等において出された主な意見ということで、下流域の対策はやるべき事が書かれているが、県管理の上流域をどのようにしていくのが課題と思っている。そのあたりのバランス感をテーブルに上げる必要がある。
- ・仁淀川本川と柳瀬川との合流点の地域では、いろんな弊害が起こるのではと言われており、流域治水の考えのもと対策のスピードアップが必要と考える。
- ・先だって河道閉塞により天然ダムが形成された時の避難訓練を実施した。実際に天然ダムが形成された場合、工事としてどのように技術的に対応するのか、貯まった水をどのように抜くのかなどについても知っておくべきなのでご指導頂きたい。

○高知河川国道事務所

- ・柳瀬川は仁淀川指定区間に流入する支川であるため、基本的に国として対策を実施することは難しいが、遊水池をつくることにより国の管理区間にも治水効果が出るのであれ

ば、国が対応することが出来る可能性がある。

- ・上流の区間にもさまざまな人が住んでいるので、高知県と連携して、スピード感について県とよく相談していきたい。
- ・河道閉塞は、まずは水位計を投入して水位を監視しつつ、決壊防止の排水工事などを実施するが、四国山地砂防事務所と連携して、後日、情報提供したい。

●越知町

- ・砂防も河川も関連しているので、両者の連携も必要だと思う。

○高知河川国道事務所長

- ・流域治水プロジェクトは河川の話がメインになっているが、上流からの山の対策も重要と考えている。当然砂防も重要と考えており、事務所は分かれているが、本局は一体で担当しているので、しっかり連携して今後は山の対策も位置付けていきたい。

●笹原委員

- ・これまでの流域治水協議会等において出された主な意見の中に、八田堰の話が出ており、八田堰について何等かの検討が必要と思われる。関連市町村に聞きたいが、八田堰はどうしたらよいと思うか。ばく然としていますが、感想的な発言で良いので伺いたい。

○いの町

- ・野中兼山の作った吾南用水があり高知市の田畑を潤している。住民や利水の受益者のコンセンサスを図る形できちんと議論する必要がある。治水上は取っ払ってしまえばいいかもしれないが、受益者もおられナイーブな問題であると認識している。

○土佐市

- ・吾南用水の関係で治水・利水両面があるので、十分コンセンサスを取ることが重要と思う。

○日高村

- ・日高村の水害の歴史上、治水面だけを考えると、洪水が八田堰でスムーズに流れた方がよいと考えている。一方で、水害だけでなく自然環境の保護や歴史的な遺産を残すということも大切であると思うので、技術的にどうすべきか、時間を掛けて検討頂きたい。

●笹原委員

- ・今のいの町さん、土佐市さん、日高村さんのご意見は、利害関係者のコンセンサスを得ることが必要であると。そのためには議論が必要ですが、議論には多大な時間が必要でしょうから、できるだけ早く議論を開始する必要があると思う。
- ・仁淀川流域学識者会議も必要なことはお手伝いするので早急な議論の開始をお願いしたい。

議事 5：その他

- ・特に意見等無し

—以上—